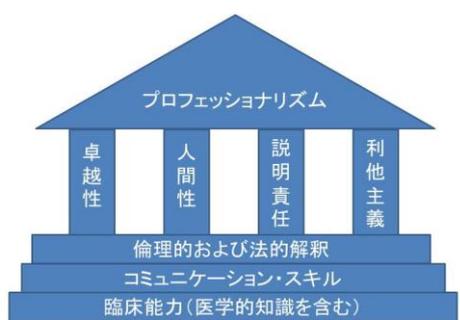


# 医師

## 医師のプロフェッショナリズムとは

医師のプロフェッショナリズムの基本は、個人の尊厳を原則とし、患者に対して害を与えないこと（ヒポクラテスの“first, do not harm”）、医療における不平等を回避すること、医療過誤の原因となるヒューマン・エラーに対処することが挙げられている<sup>1)</sup>。現代のプロフェッショナリズムは、患者と医療従事者のパートナーシップであり、互いに安全と幸福（ウェルビーイング）を導くとされている。また医療従事者のバーンアウトは医療の質を低下させるため、レジリエンスを高めるバーンアウト予防策の実施が必要である<sup>1)</sup>。

医師のプロフェッショナリズムの代表的モデルには、アーノルドとスターンの広義のプロフェッショナリズム<sup>2)</sup>（図1）と欧米内科3学会・組織合同による具体的な原則と責務を提示したプロフェッショナリズム<sup>3)</sup>（図2）の2つがある。



Arnold, Sternの図を一部改変した

図1 アーノルドとスターンの唱えるプロフェッショナリズムの「定義」

### 基本的原則

- 患者の福利優先の原則
- 患者の自律性に関する原則
- 社会正義(公正性)

### プロフェッショナルとしての責任

- プロフェッショナルとしての能力に関する責務
- 患者に正直である責務
- 患者情報を守秘する責務
- 患者との適切な関係を維持する責務
- 医療の質を向上させる責務
- 医療へのアクセスを向上させる責務
- 有限の医療資源の適正配置に関する責務
- 科学的な知識に関する責務(科学的根拠に基づいた医療を行う責務)
- 利害衝突(利益相反)に適切に対処して信頼を維持する責務
- プロフェッショナル(専門職)の責任を果たす責務

図2 欧米内科3学会・組織合同医師憲章(プロフェッショナリズム)

## 医師に対するプロフェッショナリズム教育

医療の現場では、医学専門的知識やスキルのみで診療が行われることは少なく、常に心理社会的問題を含んでいる。ときに不確実性や医師-患者間における価値観の相違などが複雑に絡み合い混沌とした状況になることも少なくない。たとえば、透析をやめたいという認知症の高齢者の場合、患者本人、家族、複数の医師と医療スタッフの考えが一致しない場面である。この場合ひとりの医師の判断だけではなく、臨床倫理の4分割表を用いて医療スタッフ、患者、家族とともに多角的に協議して結論に導くのも1つの方法であろう。高度の複雑さと曖昧さを扱う医療の実践の中、プロフェッショナルな医師としての行為と決断を省察しながら問題に取り組む姿勢が必要とされている。

このような現場の背景の中、医師のプロフェッショナリズムの教育の概要は、1) 目標を

設定すること、2) 学習経験を積むこと。そして3) 成果を評価することであるが、大生は「プロフェッショナリズムの教育は、初期の知識のレベル、態度・姿勢・行動のレベルに加え、学習者にとって重要なイベントを振り返ることができるような、そして体験を得られるような方略、さらにプロフェッショナリズムのあり方を示してくれるロールモデルの存在、良いあり方を模索する文化や環境に身をおくことの重要性を指摘している<sup>4)</sup>。

一方、宮田は学習者が記載するポートフォリオにおける Significant Event Analysis (SEA) (訳さないで用いることが多いが有意事象分析と訳すことがある) の重要性を指摘した<sup>5)</sup>。この SEA を記載する際の批判的な振り返りを伴う省察は、プロフェッショナリズムの学びに極めて有用と考えられている。その振り返りの深さは人間的成長と関連するとされ、その経験を他のメンバーや教員らとともに共有可能である。医療者自身の物語の記載は、いわゆるナラティブ能力を高め、共感的全人的医療の実践をもたらすプロフェッショナリズムの涵養をもたらす。

### ● 医師のバーンアウト対策

医師のバーンアウトは世界的喫緊の課題である。米国内科学会 (ACP) 日本支部会員に対するWeb調査では、COVID-19のパンデミック時に本研究に参加した日本人の内科医およびプライマリ・ケア医214人のうち約30%がバーンアウトの症状を有し、15%がうつ病の基準を満たしメンタルヘルスの障害を軽減するための介入が必要と考えられた。また、高いレジリエンス・スコアが、バーンアウトのスコア低下と有意な相関があり、今後バーンアウトした医師への対策と並んでレジリエンス向上の対策が必要であると思われた。

#### 文献

- 1) Nicola Cooper : Anna Frain, Jhon Frain 監訳宮田靖志 ABC of 医療プロフェッショナリズム 12-61, 羊土社, 東京, 2020
- 2) Arnold. L., & Stern DT: What is Medical Professionalism ?. In Sten DT (ed): Measuring Medical Professionalism. Oxford university press New York, 15-37, 2006
- 3) ABIM Foundation: American Board of Internal Medicine. ACP-ASIM Foundation: American College of Physicians-American Society of internal Medicine, European Federation of Internal Medicine. Medical Professionalism in the new millennium. a physician charter. Ann Intern Med, 136, 243-246, 2002
- 4) 大生 定義: プロフェッショナリズム総論 京府医大誌 120, 396-402, 2001
- 5) 宮田靖志: プロフェッショナリズムと省察的实践 日本プライマリ・ケア連合学会誌 35, p70-75, 2012
- 6) Kuriyama A et.al. : Burnout, depression, anxiety, and insomnia of internists and primary care physicians during the COVID-19 pandemic in Japan: A cross-sectional survey. Asian Journal of Psychiatry 68, 2022, 102956

(森谷 満)